

八峰コミスク通信

雪の少ない冬とはいえ、まだまだ厳しい寒さが続いています。暦の上では立春も過ぎ、確実に春が近づいています。体調管理をしっかりしたいものです。町の小・中学校では、新年度を迎える準備が始まっています。

コミュニティ・スクール 熟議Ⅱ (二月十九日)

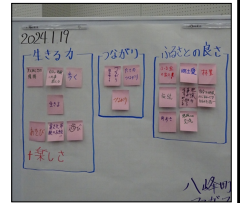
フアガスを会場に、今年度一回目のコミュニティ・スクール熟議を開催しました。県生涯学習センターの布施久典社会教育主事がファシリテーターを務めてくださいました。地域の方々、学校の先生方、学校運営協議会委員など、十八名の参加がありました。



「子どもたちと地域とのつながり」をテーマに、八峰町の子どもたちにとってのよい経験、体験をさせたいか、活発に話し合いがなされました。参加した皆さんからは、「豊かな自然を生かした登山や海での遊び」「地域の歴史や祭り」「町の産業の職業体験」など、様々な意見が述べられました。一方、「地域に子どもが少なく、大人とふれあう機会が少ない。」「放課後、子どもたちも近所で遊ぶ姿が見られない。」「子どもたちにも参加してもらいたい。」「意見を聞いてみたい。」など、コミュニティ・スクールを推進していく上で、課題となる貴重な意見も聞くことができました。

令和5年度
第19号
R6/2/6
CSデイルター
三浦

熟議の最後には、「生きる力」、「つながり」、「ふるさと」の三つのキーワードが出されました。地域の子どもたちとのつながりについて考えることができる、よい機会となりました。



地域と学校の連携・協働

地域の皆さんと学習した各校の活動を紹介します

峰浜小学校

三年 石駒踊り奴踊りの学習 (二月二十日)

石川地区の伝統芸能である、奴踊りと駒踊りについて学習会を開きました。伝統芸能保存会の小沢重博さんが講師を務めてくださいました。奴踊りや駒踊りの起源や歴史、現在の様子などについて、ビデオや写真を用いながら、丁寧に教えてくださいました。



AIU学生との交流授業 (二月二十六日)

国際教養大学(AIU)の学生二名が来校し、午前中は、三、四年生との交流、午後からは、五年生、六年生と外国語の授業での交流が行われました。



八峰中学校

入学説明会 (二月二日)

四月に入学予定の六年生と保護者の皆さんが参加しました。前半は、六年生は中学校の数学の授業を体験しました。六年生はリラクセスした雰囲気、比較や関数の問題に取り組みました。また、能代警察署の方を講師に、保護者の皆さん向けのSNSに関する研修会が開かれました。後半は、保護者の皆さんと一緒に、中学校生徒会執行部の皆さんによる、中学校の生活、学習、部活動などの説明を聞きました。

三、四年生は、自作の名刺を手渡しながら自己紹介したり、「ABCの歌」を一緒に歌ったり、学生を交えて伝言ゲームを楽しんだりして、交流を楽しみました。五年生の授業では、二つのグループに分かれ、一人一人が将来の夢などを英語で学生に伝えました。六年生の授業では、同じく二つのグループに分かれて、修学旅行や運動会などの心に残っている思い出について、一人一人が自信をもって英語で話していました。両学年とも英語を用いた交流を楽しんでいました。一、二年生は、学生と一緒に給食を食べながら、交流しました。

